

実績概要 (ホームページ掲載用)

| | |
|------------|----------------------|
| 研究又は活動のテーマ | 【五ヶ瀬町の社会基盤整備について考える】 |
| 助成事業者 | 五ヶ瀬町建設業協会 |
| 代表者 | 会長 辻 勢津也 |

(目的)

本町建設業を取り巻く諸問題について議論。技術者・作業員の高齢化、就業率の低下、若い世代の担い手不足等々、雇用情勢に加え、災害時の緊急体制、道路及び国土保全等における社会的立場について、様々な視点、角度から論議を重ね、本町における今後の建設業界の発展、経済活動の推進、地域の活性化に寄与することを目的とし、五ヶ瀬町建設業協会主催でフォーラムを実施した。

(概要)

五ヶ瀬町の社会基盤整備をテーマにフォーラムを開催。
討論会に先立ち、基調講演を行い、パネルディスカッション形式による討論会を実施した。

■基調講演

宮崎大学、熊野教授より

【五ヶ瀬町の社会基盤整備についての考察と提言】

西臼杵支庁、中武土木課長より

【建設行政の動向と展望】

■討論会

熊野教授に討論会のコーディネーターを依頼し、中武土木課長にオブザーバー的な立場で行政視点からのご意見を頂戴した。

パネリストは町内建設業の4名の会員が登壇した。

■フォーラムの総括

令和3年9月10日に建設業協会会員を中心とする実行委員会を設立し、令和4年度の開催に向けて準備を進めてきた。建設業が担う社会的役割を再認識するため協会主催事業として計画し、実行委員会を設立した。令和4年度は開催直前の台風災害により、町内インフラの早期復旧、町民の安心・安全な暮らしの確保のため、災害応急工事を優先し、開催を一旦は断念。しかしながら、この台風災害により、人材の不足、技術的な側面など、従来から抱えていた諸問題が浮き彫りとなり、より一層の危機感を強めるとともに開催の重要性を強く感じ、今回の開催の運びとなった。

来場者は113名。行政機関をはじめとする多くの来賓を含めた参加者全員に、本フォーラムが一定の共感を得るとともに問題意識の共有化、業界の現状及び将来像について理解を図り、我々の社会基盤整備、地域・社会活動、経済活動の推進等に対する思いを一定程度発信することができたと確信している。